

令和7年度 工業用水道事業会計 決算概況

1 総括事項

【使用水量】

・産業構造の変化や省資源対策による回収水の再利用等の影響を受け、減少で推移

【事業面】

・浄水場連絡管の整備や老朽化した管路の更新等を実施

【財政面】

・損益において、予算対比で給水収益の増により増収となったことに加え、動力費等の費用が減となったことから、当年度純利益は増加
・単年度資金については、資金不足額が生じ、累積資金残額は減少

2 業務の状況

契约会社・工場数	1日当たりの契約水量	年間契約水量
50社 70工場	36万4,300m ³	1億3,291万940m ³
年間使用水量	水道料金収入（税抜額）	
1億833万6,280m ³	56億6,300万48円	

3 建設及び改良工事

【建設改良費の決算額】

・前年度からの繰越事業費を加えて、44億5,500万8,569円
・令和8年度への繰越額は、7億6,854万4,331円

【主な建設改良工事】

＜配水施設費＞
・将来の工業用水の安定供給に向けて、工業用水道浄水場連絡管布設工事等を施行
＜その他の建設改良費＞
・生田浄水場一次濃縮槽汚泥掻寄機等更新工事等を施行

4 経理の状況

(単位 円：税込額)

区 分	収 入	支 出	収支差引
収益的収支	6,663,902,639	5,410,418,291	1,253,484,348
収益的収支差額（税抜額）	=	当年度純利益（△純損失）	853,476,425 円

(単位 円：税込額)

区 分	収 入	支 出	収支差引
資本的収支	1,356,149,425	5,060,648,786	△ 3,704,499,361

資本的収入額が資本的支出額に不足する額3,704,499,361円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額244,055,714円、減債積立金449,809,812円、建設改良積立金2,950,287,235円及び過年度分損益勘定留保資金60,346,600円で補填した。

問合せ先
川崎市上下水道局総務部財務課
松田
044-200-3104
(内線45403)

【収益的収支】

区分	収入（税込）	支出（税込）	差引（税込）	税抜処理後 純損益	前年度 繰越利益剰余金	(単位 円)	
						その他未処分 利益剰余金変動額	当年度未処分 利益剰余金
予算現額	6,577,546,000	5,819,207,000	758,339,000	373,113,000	6,519,871,000	545,625,000	7,438,609,000
決算額	6,663,902,639	5,410,418,291	1,253,484,348	853,476,425	0	3,400,097,047	4,253,573,472
執行率	101.3%	93.0%	—	—	—	—	—

【資本的収支】

(単位 円)

区分	収入（税込）	支出（税込）	差引（税込）	補 填 財 源 等				再差引
				繰越工事資金	損益勘定 留保資金	前年度 財源充当額	その他	
予算現額	2,114,986,000	6,014,211,221	△ 3,899,225,221	0	3,139,768,221	0	759,457,000	0
決算額	1,356,149,425	5,060,648,786	△ 3,704,499,361	0	60,346,600	0	3,644,152,761	0
執行率	64.1%	84.1%	—	—	—	—	—	—

工業用水道事業会計決算（見込み）のポイント

（税込額）

	令和7年度	令和6年度	増△減額	増△減率 %	備 考
1 収益的収入	66億6,300万円	130億900万円	△63億4,600万円	△ 48.8	
主 な 収 入	水道料金収入	62億2,900万円	74億9,200万円	△12億6,300万円	△ 16.9 契約水量の減
	その他特別利益	2,300万円	53億5,200万円	△53億2,900万円	△ 99.6 減量負担金の皆減
2 収益的支出	54億1,000万円	71億1,200万円	△17億200万円	△23.9	
主 な 支 出	人件費	5億8,100万円	5億7,200万円	900万円	1.6
	物件費	48億2,900万円	65億4,100万円	△17億1,200万円	△ 26.2 受水費の減、消費税及び地方消費税の減
3 差引（1－2）	12億5,300万円	58億9,600万円	△46億4,300万円	△ 78.7	
※ 純損益（税抜額）	（純利益） 8億5,300万円	（純利益） 57億600万円	△48億5,300万円	△ 85.1	
4 資本的収入	13億5,600万円	16億7,900万円	△3億2,300万円	△ 19.2	
主 な 収 入	企業債	12億3,700万円	15億5,500万円	△3億1,800万円	△ 20.5 浄水施設等充当債の減
	補助金	1億1,800万円	1億2,400万円	△600万円	△ 4.8
5 資本的支出	50億6,000万円	32億8,600万円	17億7,400万円	54.0	
主 な 支 出	建設改良費	44億5,500万円	21億8,100万円	22億7,400万円	104.3 配水施設費の増、浄水施設費の増
	企業債償還金	5億4,500万円	5億8,700万円	△4,200万円	△ 7.2
	投資	6,000万円	5億1,600万円	△4億5,600万円	△ 88.4 債券購入の減
6 差引（4－5）	△37億400万円	△16億600万円	△20億9,800万円	130.6	
7 資金不足比率	（資金不足となっていない） －	（資金不足となっていない） －			財政健全化法における経営健全化基準 20%

※ 金額については、百万円未満を切り捨て。

※ 増減率については、小数点第2位を四捨五入。